資料１

平成27年12月定例会（付託）
文教厚生委員会（保健福祉部）

平成28年度に向けた保健福祉部の施策の基本方針
～「一歩先の未来」へ！保健福祉部の挑戦 ～

当面の課題

地域医療体制の改革と充実

・病床の機能分化・連携
・医療従事者の確保・養成
・健康指標の更なる改善

超高齢社会への対応と挑戦

・全国より早く進む高齢化（2020年に県内高齢者数がピーク）に対応
・生涯現役で活躍できる場の創出
・在宅医療・介護の連携

ユニバーサル社会の推進と下支え

・障がい者が自己実現できる社会の創出
・貧困の連鎖防止
・高齢者、障がい者、難病患者など誰もが安心して暮らせる地域社会の実現

施策の展開

地域医療提供体制の確保

地域医療介護総合確保基金を活用し、質の高い医療サービスの提供体制を構築する。県北部の中核的病院として、徳島県鳴門病院の機能強化を推進する。

健康寿命の延伸

糖尿病、がん、認知症、自殺予防対策、乳児死亡率改善など県民の健康づくりに取り組む。

地域包括ケアシステムの構築

医療・介護の連携強化や介護人材の育成、認知症サポーターを活用した地域ぐるみの支援体制を構築する。

ふるさと回帰と活躍の場づくり

徳島型ＣＣＲＣの推進により、本県ゆかりの高齢者の移住を促進するとともに、活躍の場を創出する。

障がい者等の権利擁護と社会参加促進

障がい者の権利擁護が図られる取組みを一層推進するとともに、自立と社会参加を促進する。

地域福祉の推進

生活困窮者の自立支援や多様な生活・福祉ニーズに対応する福祉拠点の整備に取り組む。

徳島は宣言する VS東京

― 県民一人ひとりの「笑顔」が踊るとくしまへ ―